



流域で考えるいのちの物語

高野雅夫



里山の美しさ



















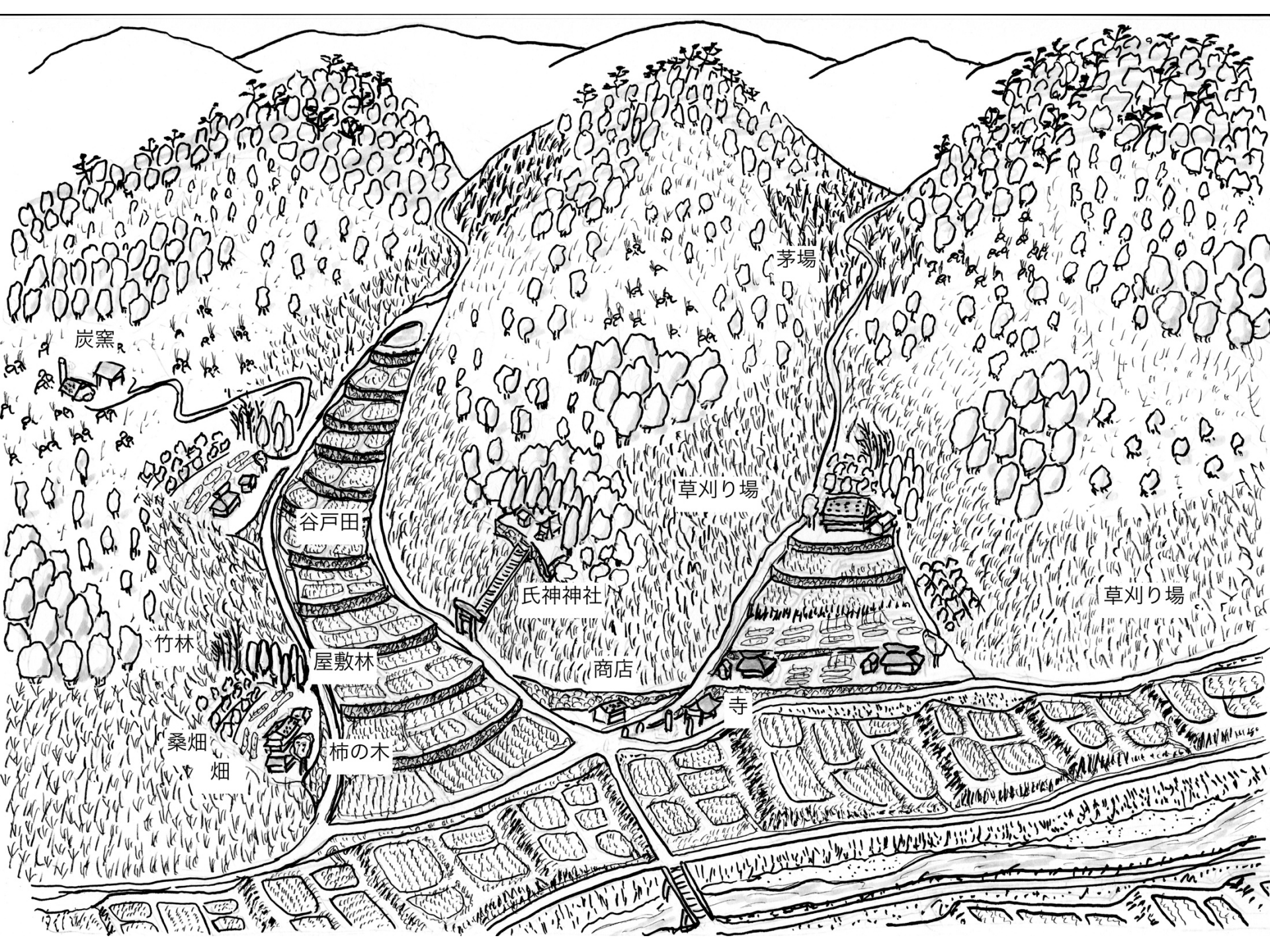












炭窯

谷戸田

竹林

桑畑  
畑

屋敷林

柿の木

氏神社

商店

寺

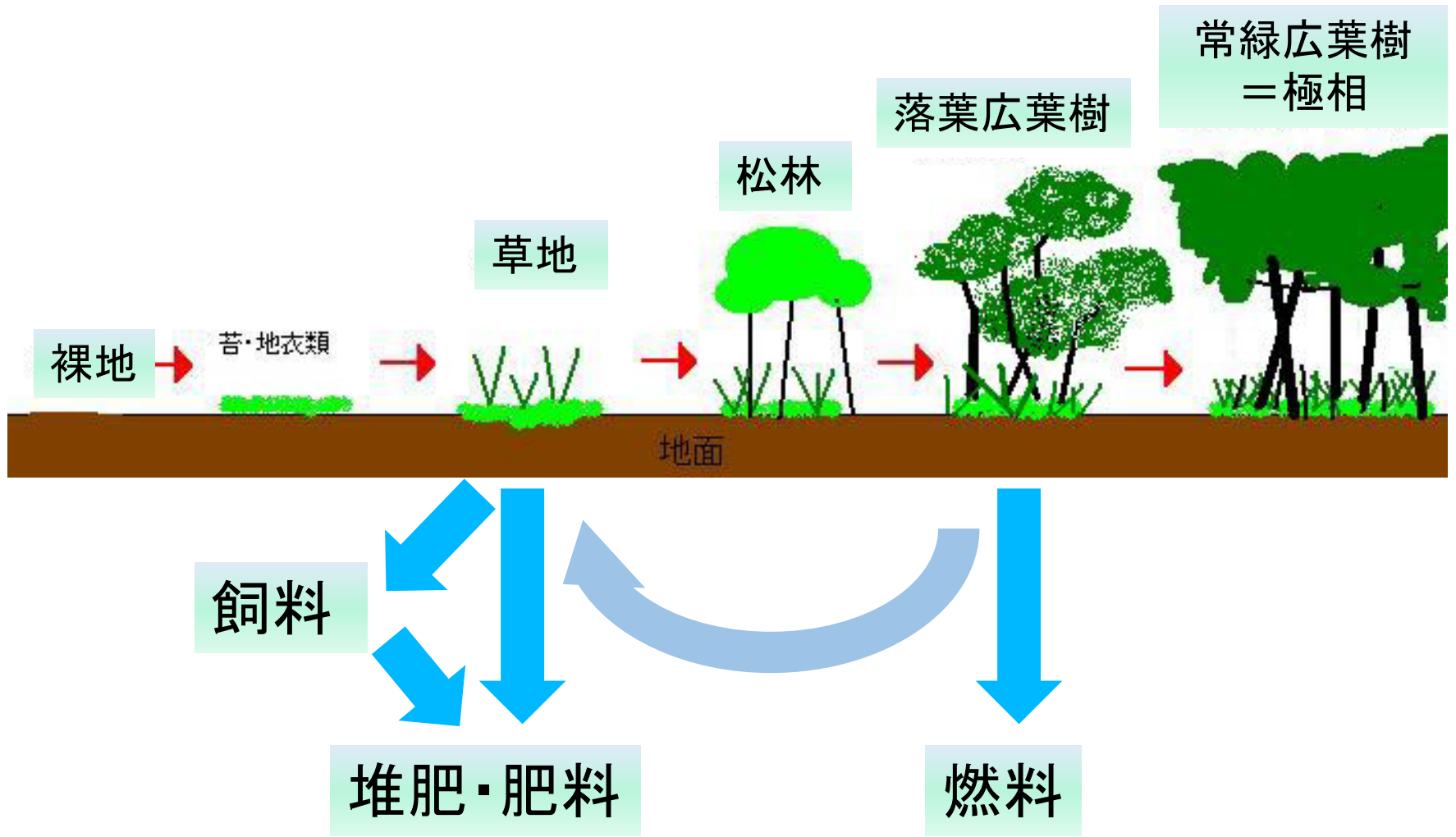
茅場

草刈り場

草刈り場



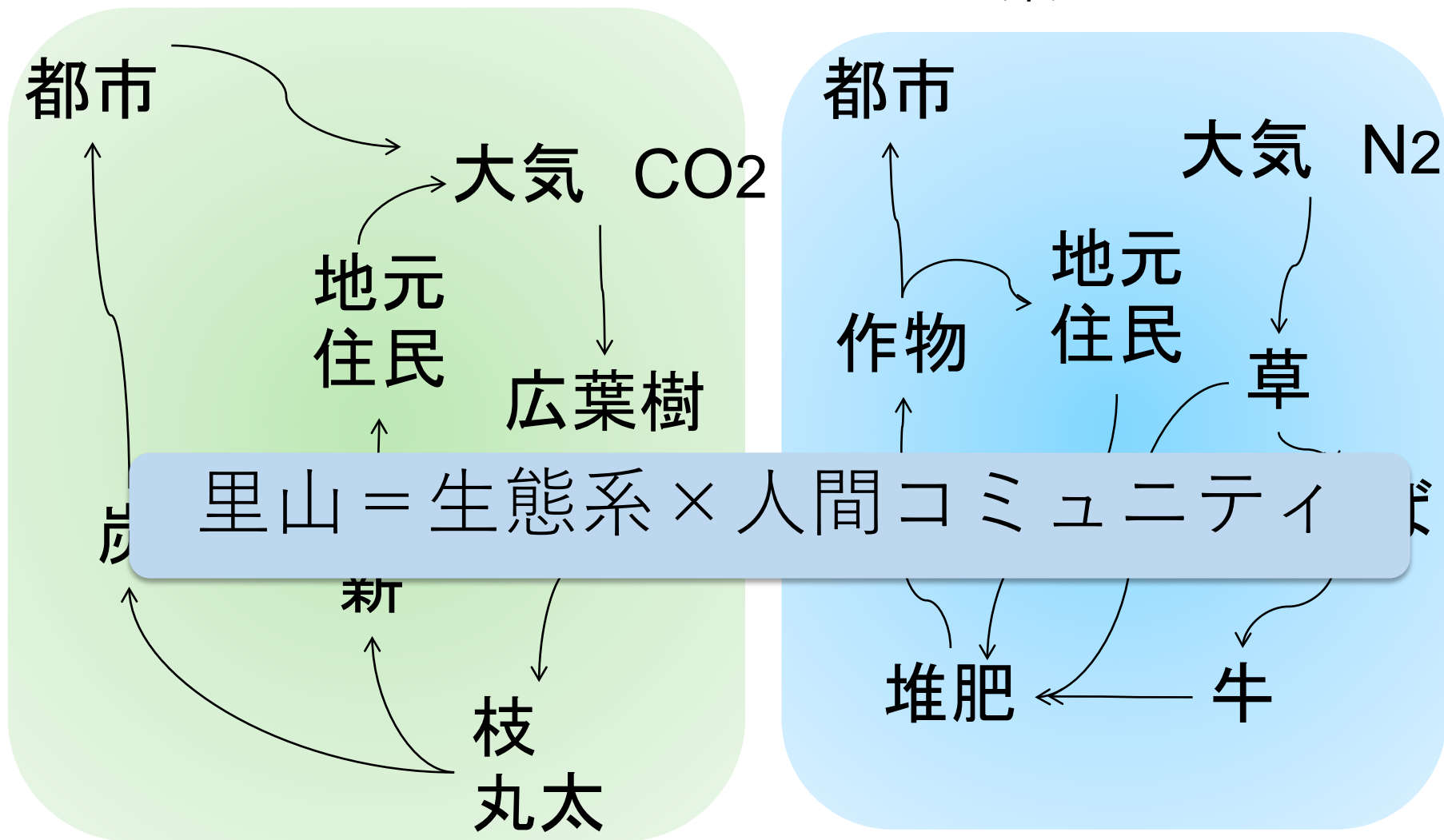
# 植生遷移と里山の利用



# 里山の物質循環

炭素フロー

窒素フロー





里山 = 水源域の変化 = 劣化

# 耕作放棄された 谷戸田



管理されない人工林



# 放置された空き家



# 竹林









人間は物語を共有することで大規模な協力が  
でき社会を成り立たせることができる  
ーユヴァル・ノア・ハラリ

江戸時代


氏神さまという物語

明治から昭和の戦争まで

万世一系の天皇という物語

戦後・高度経済成長からは？

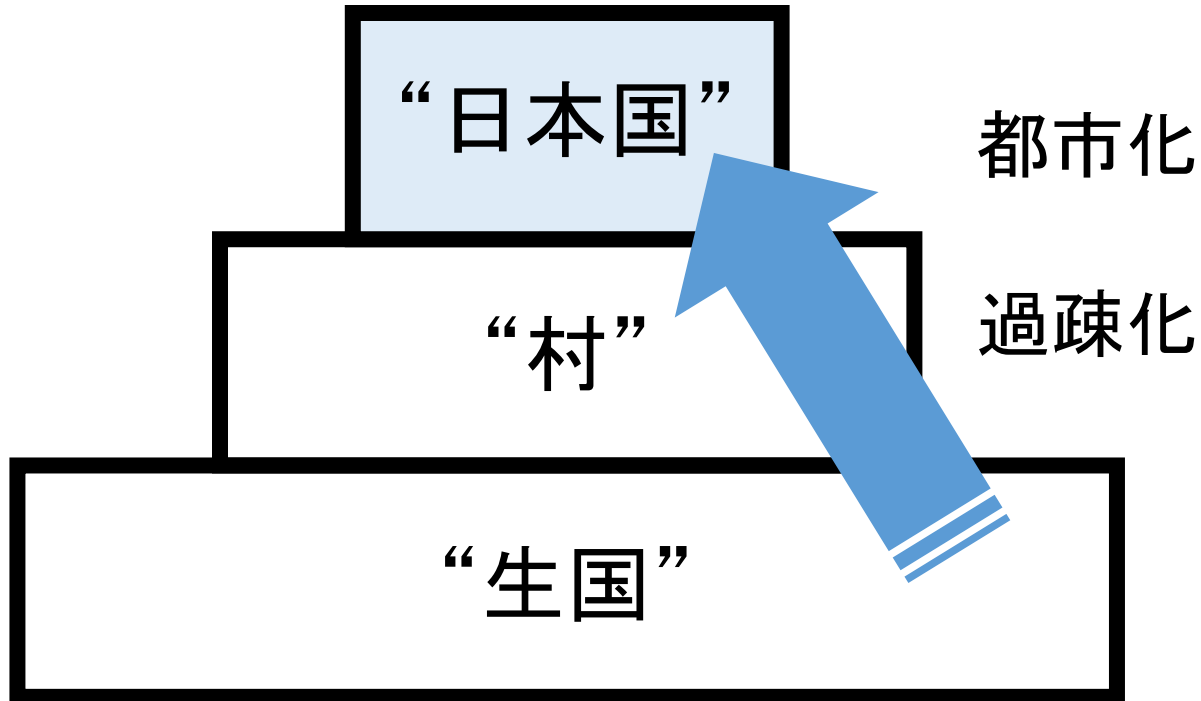
おカネの物語？

A scenic view of a rural valley. In the foreground, there are rows of lush green tea plants. Below them, a small village with several houses and a road is visible. The background consists of rolling green hills and mountains under a sky with scattered white clouds. The top of the image is framed by dark, silhouetted tree branches.

私たちはどこに向かって  
いけば良いのでしょうか？

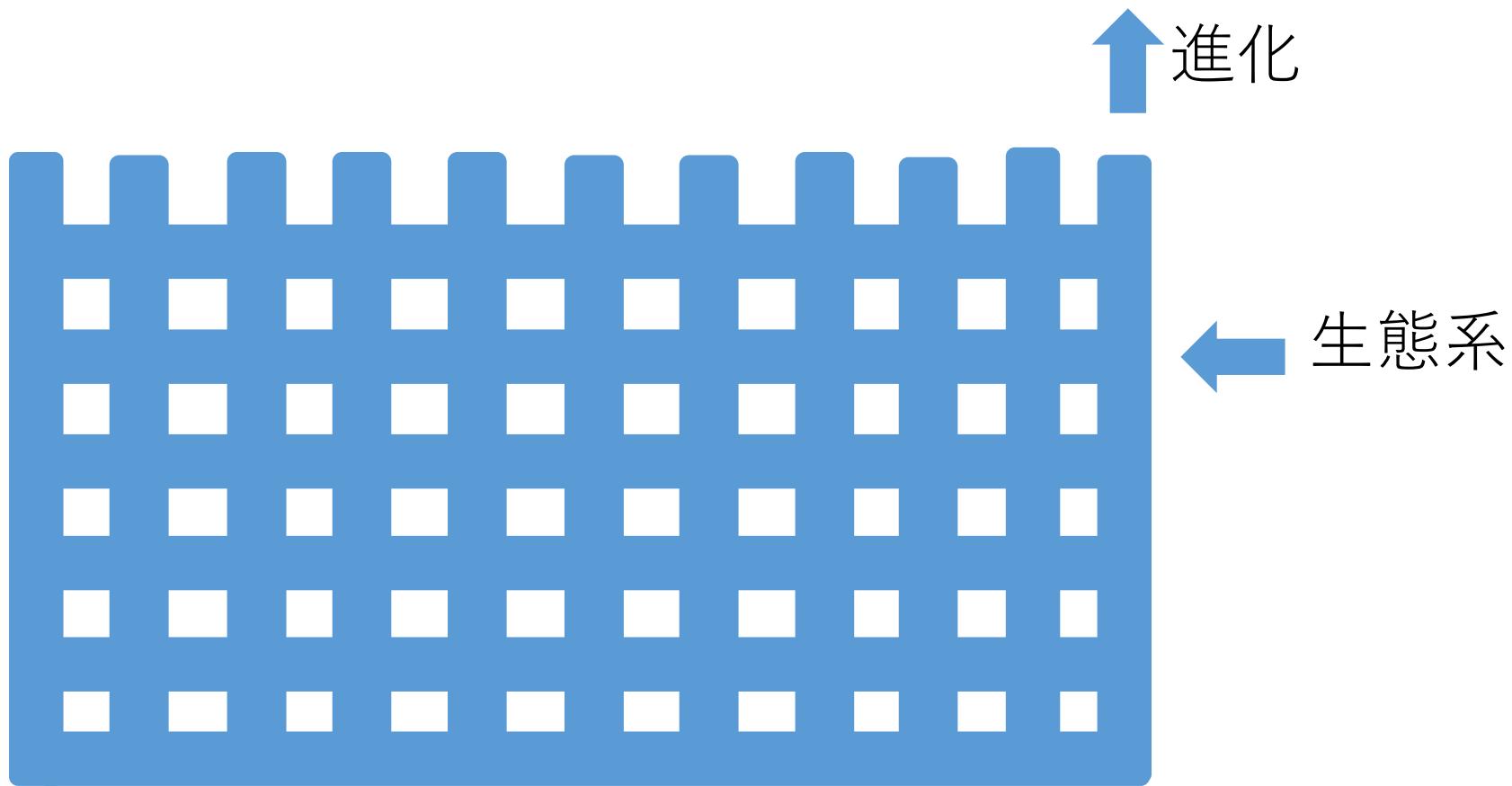
= どのような物語を共有し  
たら良いのでしょうか？

法律・契約・おカネ→人為な暮らし



緒方正人『チツンは私であった』

しょうごく  
生国とは？



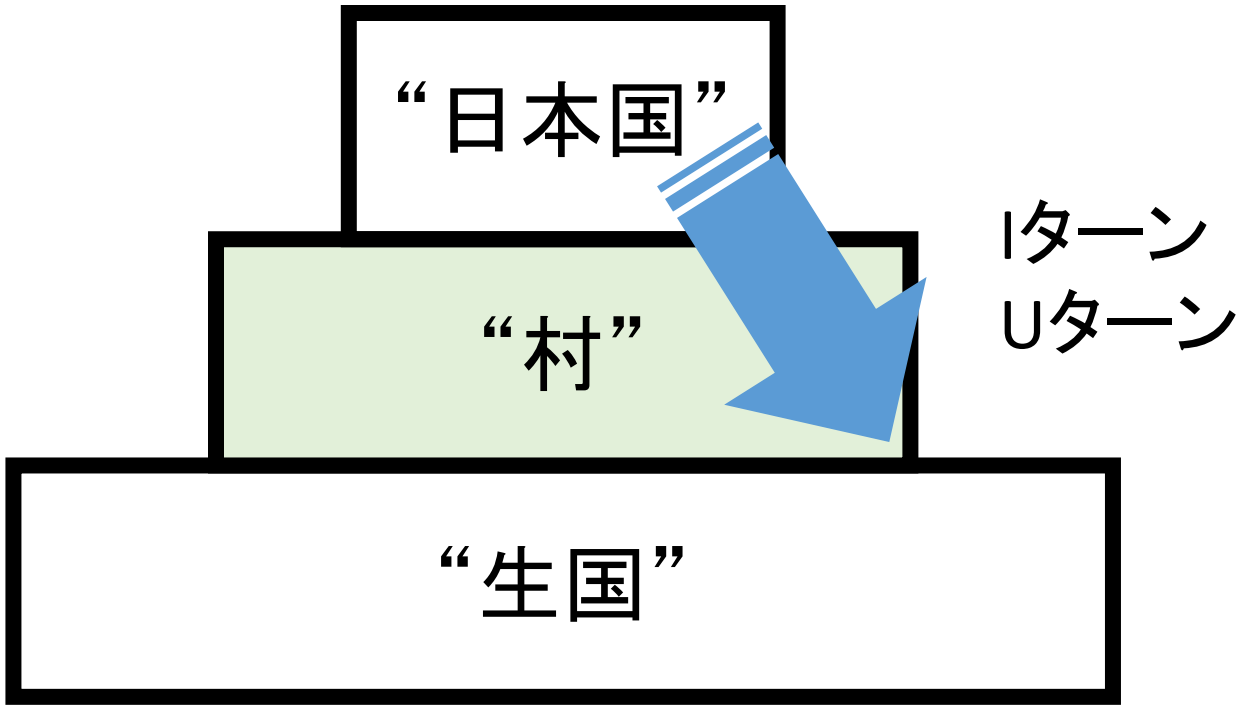


持続可能な社会に向かうためには・・・

じねん

自然 = nature × 人間 = いのち

の物語？



# 2010年ごろ～ 移住ブーム始まる

TURNNS

人、暮らし、地域をつなぐ  
移住・田舎暮らし情報サイト「ターンズ」

NEWS TURNNS magazine 行政・企業の方へ TURNNSについて お問い合わせ

よんでみる はじめてみる はたらいてみる

人、暮らし、地域をつなぐ【ターンズ】  
TURNNS

地方で  
かなえた  
自由な  
住まいと  
暮らし方



## TURNNS Vol.24 2017[8月]

地方でかなえた

### 自由な住まいと暮らし方

発売日：2017年6月20日

定価：880円(税込)

いいね！ 0

シェア

ツイート

#### 特集

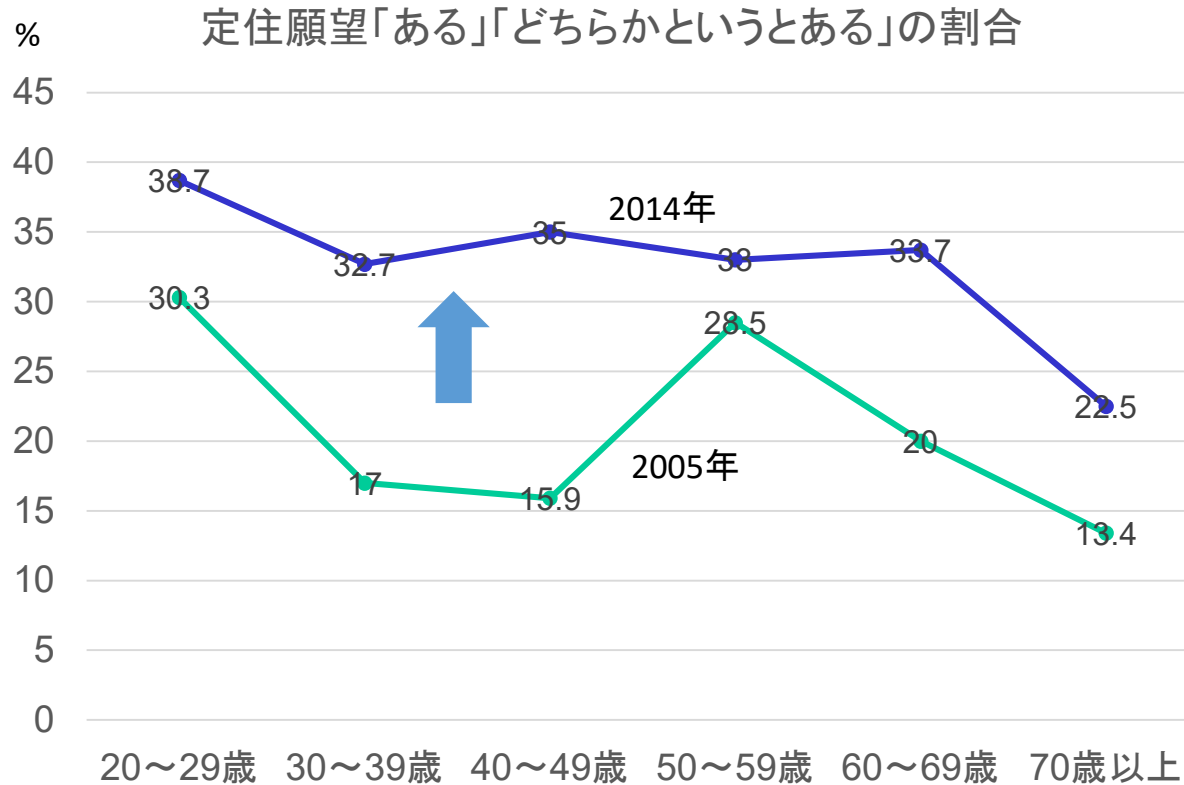
地方には、都会ではできない住まい方があります。

あくまでも無理なく、気負わず、自然体で、楽しむことも忘れない。  
そんな身の丈にあったちょうどいい住まいと暮らしを手に入れた  
先輩たちが、地方にはたくさんいます。

自分のめざしたいホンモノの暮らしを手に入れた人たちを紹介します。



# 若い世代で増える農山漁村への定住願望



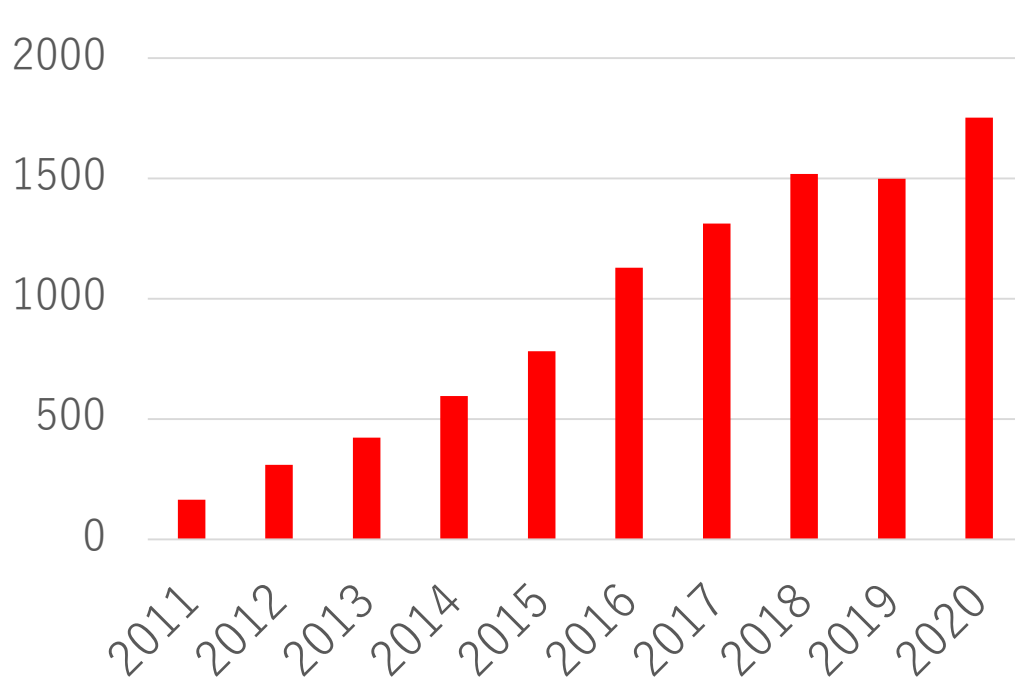
出典 内閣府「農山漁村に関する世論調査」平成26年

<https://survey.gov-online.go.jp/h17/h17-city/2-2.html>

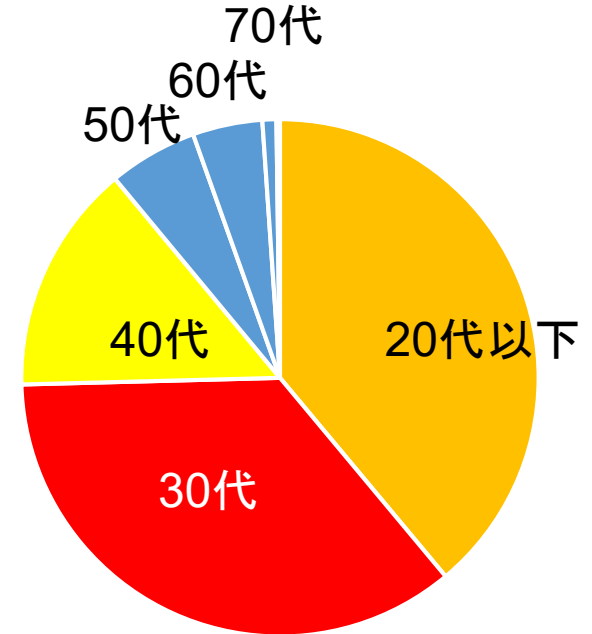
「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」平成17年

<https://survey.gov-online.go.jp/h17/h17-city/index.html>

# 移住者は増えている（岐阜県の例）



移住者数の推移  
(行政の支援策を利用した人)

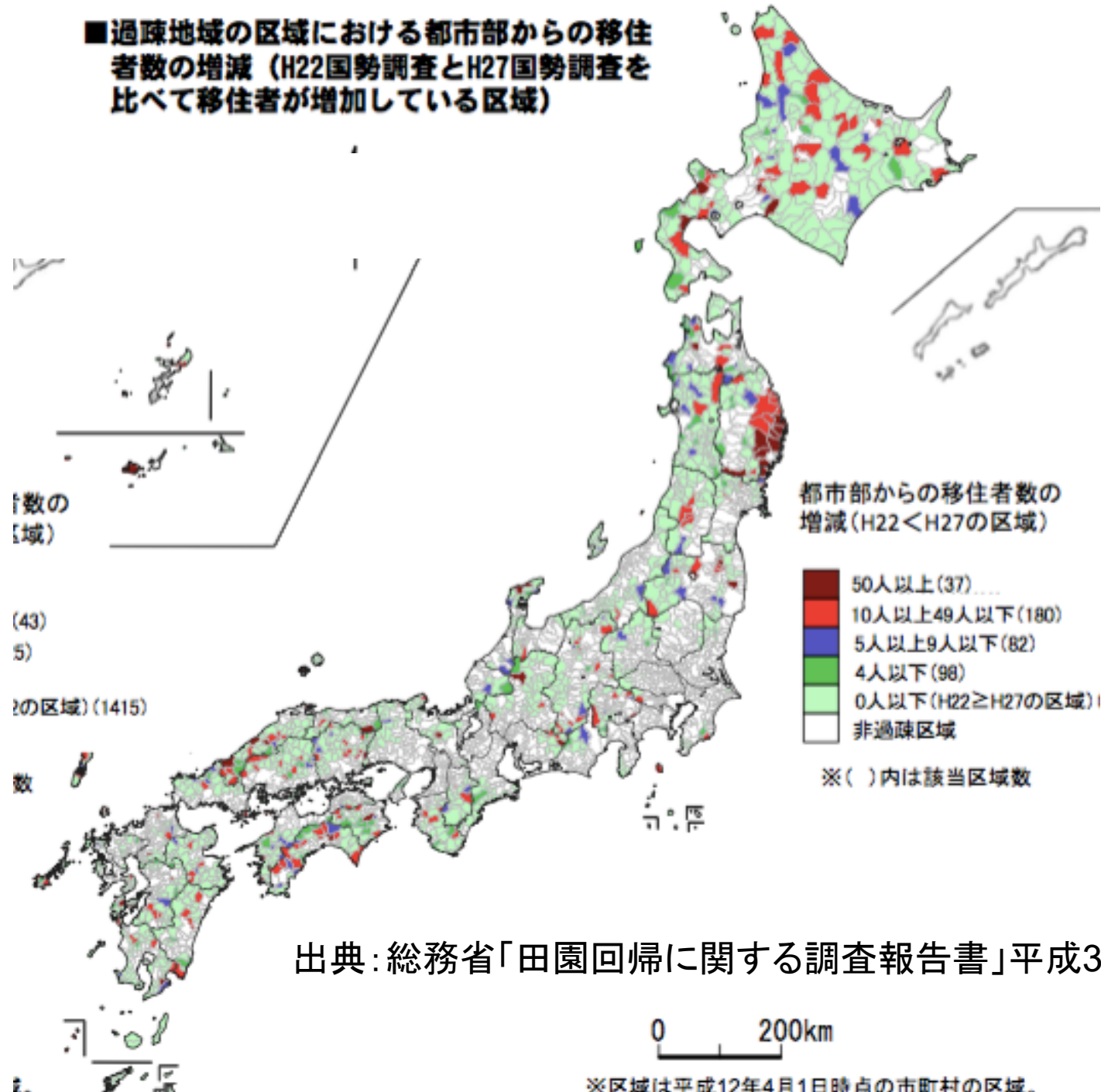


移住者の世帯主  
年齢構成(2020)

出典 岐阜県発表資料

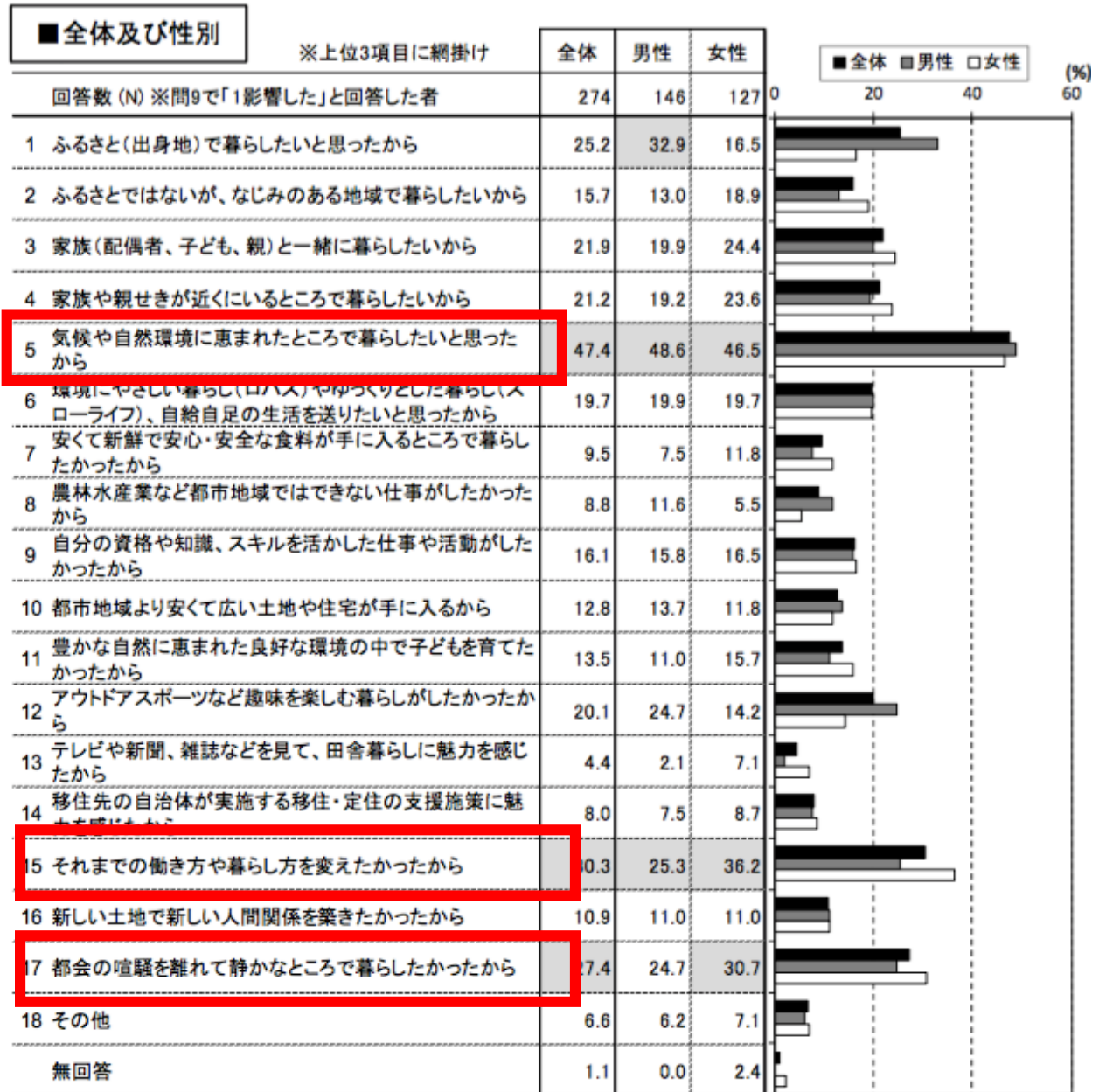
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/254036.pdf>

■過疎地域の区域における都市部からの移住者数の増減（H22国勢調査とH27国勢調査を比べて移住者が増加している区域）



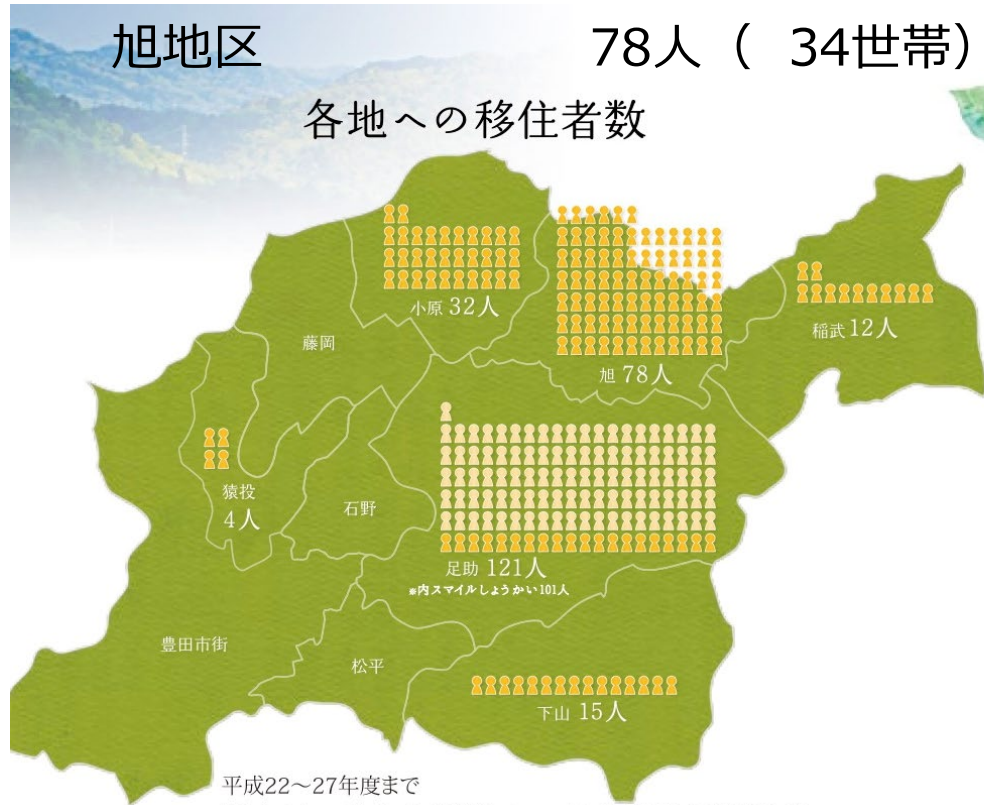
出典：総務省「田園回帰に関する調査報告書」平成30年3月

【質問1で「1.影響した」と回答した人のみ】「現在お住まいの地域に移住したのはなぜですか。」(複数選択可) 出典:総務省「田園回帰に関する調査報告書」平成30年3月



# 豊田市の山村部 移住のホットスポット

- 2010年～2015年 262人（108世帯）移住



総合計 移住者262人 移住世帯108世帯



豊田の山村に移住してきた人々は  
空き家情報バンクを利用した人だけでもこんなにもいるんです。

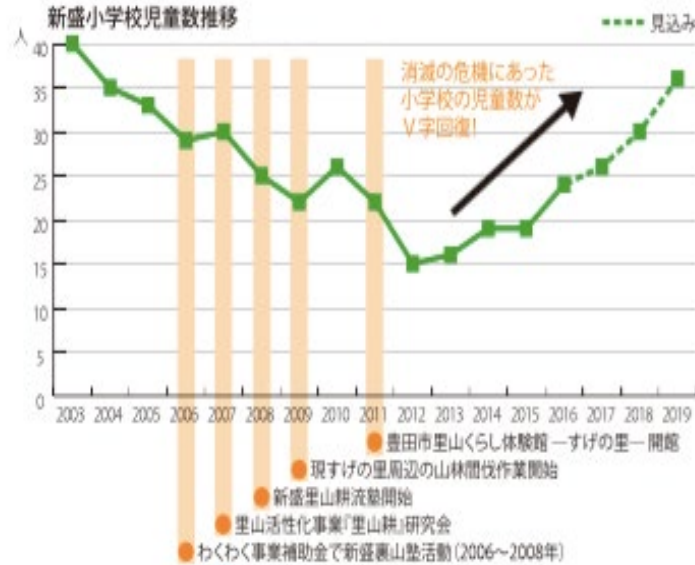




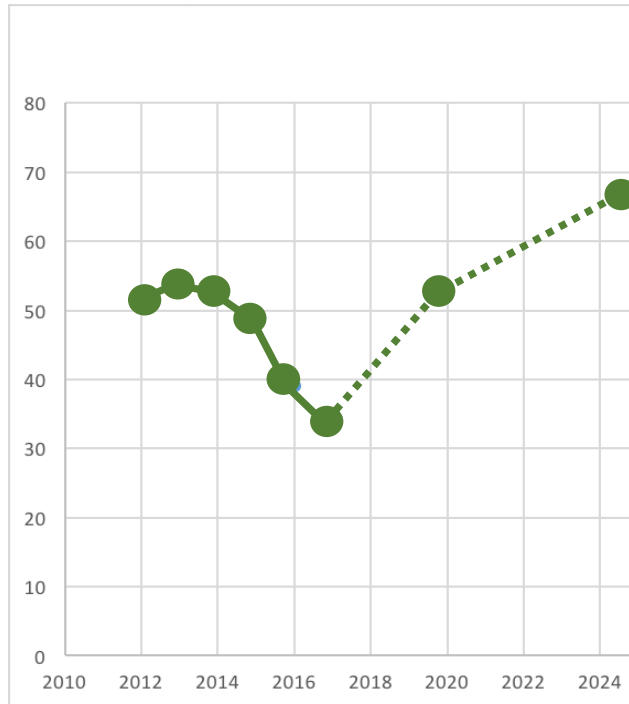
# 豊田市旭地区の 移住者たち



# 子どもの数がV字回復する地域が出てきた



愛知県豊田市足助地区  
新盛小学校児童数変化  
豊田市『移住者受け入れスタートガイド』



愛知県豊田市旭地区  
敷島小学校児童数変化

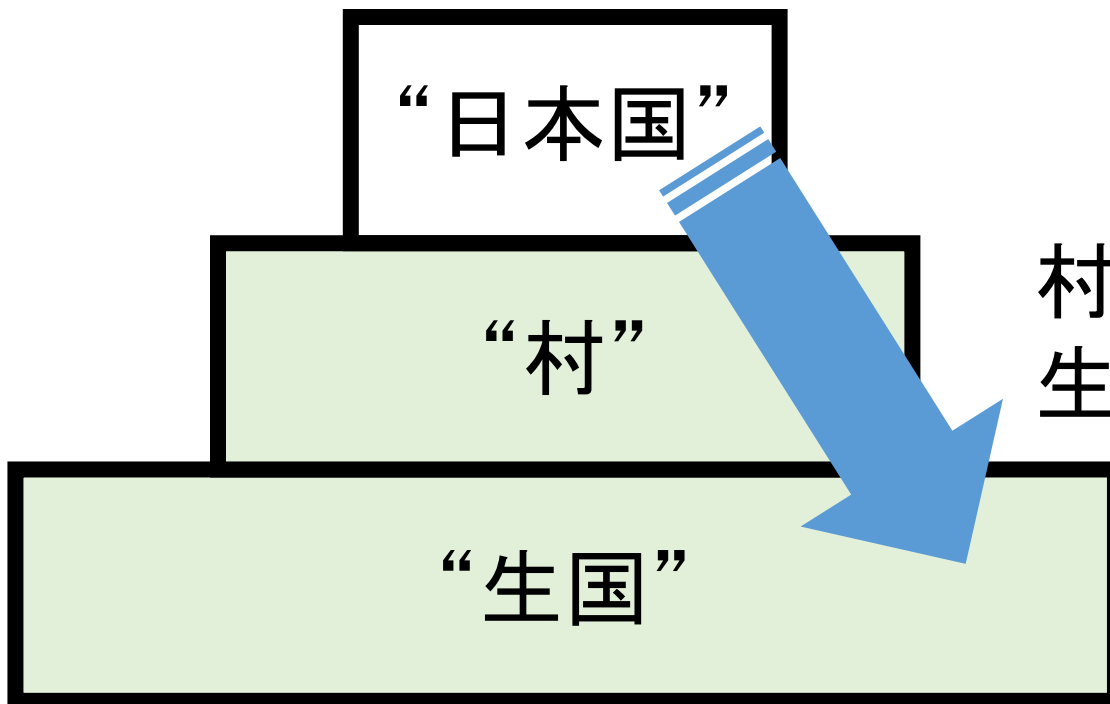
# 移住者の声（その1）

- 自然豊かな環境の中で子育てをしたい
- 環境に配慮した暮らしやできるだけ自給自足をするような暮らしがしたい
- 都会のオフィスでの仕事よりもやりがいのある仕事をしたい

## 移住者の声（その2）

「都会の暮らしでは地域社会に参加する機会がほとんどありません。隣に住んでいる人もよく知らないくらいです。それが田舎に来ると集落の人との付き合いが濃厚です。そこで自分が受け入れられ期待されていることを実感します。自分たちが地域に参加し貢献しているという実感があります。」

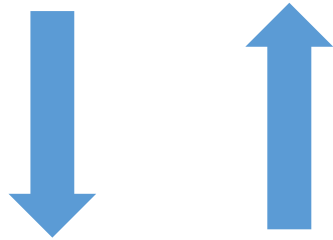
「都会の大企業で働いていた時に、自分がやっている仕事が社会を良くすることに貢献しないというか、むしろ悪くすることにつながっているのではないかという疑念が生まれました。その疑念はだんだんと深刻なものになっていき、ある時私はそれに耐えられなくなって仕事を辞める決心をしました。田舎に来ると収入は随分減りましたが、集落の人やお客さんから喜ばれ手応えがあり満足しています。」



村を  
通って  
生国  
に至る

じねん  
自然な暮らし

じねん  
自然な暮らしをする人が増える



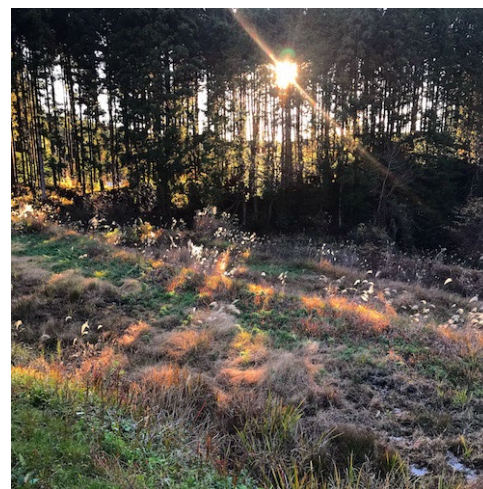
美しい村ができる

持続可能な地域づくりの方程式

# ホンモノの里山暮らし体験・紺屋ラボ “村”を通して“生国”にいたる体験の場

## 紺屋とは？

- 岐阜県恵那市飯地町は標高600m人口600人の高原の村です。
- 私たちはここに移住して屋号の紺屋（こうや）を引き継ぎ、古民家を改修して薪ストーブ・薪風呂の暮らしをしています。
- 敷地は約2ha。典型的な里山ですが、10年以上耕作放棄された棚田、まったく管理されていない人工林などで荒れています。
- 少しずつ整備・再生・活用しようとしていますが、私たちだけでできるものではありません。
- 美しい里山を後世に残すというミッションに共感してくださる方といっしょに再生できればと思っています。











# Thank You



『自然(じねん)の哲学  
—おカネに支配された心を解放する  
里山の物語』  
ヘウレーカ 2021年  
好評発売中